

— μ HI. CommunicationEngine技術情報 —

前略、下記 μ HI. CommunicationEngine技術情報をお送り致しますので、ご使用の際はご注意くださいようお願い申し上げます。

〒104-0031
東京都中央区京橋2-14-1
兼松ビルディング3階
TEL (03)6228-6467 (代表)

ルネサス セミコンダクタ
パッケージ&テストソリューションズ株式会社

題目	μ HI. CommunicationEngine 基本セット TCPデータ受信に関する制限事項		発行番号	MC-1408-001	
			分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③ 使用上の注意事項	
適用製品	μ HI. CommunicationEngine-TCP V1.00, V1.10	対象ロット	関連資料	TCP/IPマネージャ リファレンスマニュアル	有効期限
		全ロット			永年

μ HI. CommunicationEngine 基本セットについて以下の制限事項がある為、回避策1または回避策2を適用の上、ご使用頂きますよう宜しくお願い致します。

【現象】

TCPマネージャのサービスコールtcp_rcv_dat()にて、指定した待ち時間による受信タイムアウトが発生した場合、不正な戻り値を返す場合があります。

【内容】

待ち時間指定*でtcp_rcv_dat()を発行した後、TCP/IPマネージャのデータ受信と同時にサービスコールのタイムアウトが発生した場合、tcp_rcv_dat()のリターン値として「取り出したデータの長さ」を返さずに、「取り出したデータの長さ - 50」の値を返します。

*tmoutパラメータに、待ち時間(1以上の値)を指定した場合。

【回避策1】

tcp_rcv_dat()を使用する場合は、待ち時間指定を使用せず、次の何れかのタイムアウト指定を使用してください。

- ①tmoutパラメータにTMO_POL(0)を指定するポーリング
- ②tmoutパラメータにTMO_FEVR(-1)を指定する永久待ち
- ③tmoutパラメータにTMO_WBLK(-2)を指定するノンブロッキングコール

【回避策2】

tcp_rcv_dat()を待ち時間指定で使用する場合は、TCP/IPマネージャのデータ受信と同時にサービスコールのタイムアウトが発生しないよう、TCP/IPマネージャがデータを受信する時間よりも十分に長い待ち時間を指定するようにしてください。

例) 通信相手のTCPデータの送信間隔が最大で約200msの場合、tcp_rcv_dat()の待ち時間の指定は、1000ms等にしてください。

以上